



10 後援会だより

Oct 2020 Vol. 43

1年生保護者会の開催

学生支援課長 大坪 祥子

下記の日程で1年生保護者会を開催いたします。入学して半年が経過し、保護者の皆様におかれましては、これからの学びについての質問や願い等あることと思います。ご出席にあたり心配な面もおありと思いますが、当日は予防対策を徹底してまいります。無理のない範囲でご出席いただきますようお願い申し上げます。

日時:令和2年10月31日(土) 受付:8時30分より
時間:9時00分~12時30分 場所:宮崎学園短期大学

※今後、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては延期または中止になることもございます。出席の際は、本学から発出された文書を確認いただくとともに、ホームページでもご確認くださいようお願いいたします。

就職活動状況

就職・進学支援係長 田村 広美

例年であれば就職活動も山場を迎え、もう一頑張りというところですが、今年は新型コロナウイルスの影響で、思うように就職活動が進められない状況です。現代ビジネス科の学生については、3月から始まった就職活動が長期戦になり辛い時期ですが、奮起して頑張っています。また、保育科学生も例年とは異なり、9月下旬から園見学や体験実習を行い、試験に臨むこととなります。

コロナ禍で社会情勢が大きく変わってきていますが、諦めることなく、前向きに活動していただきたいと思っております。私達も全力でサポートします。

令和2年度 後援会役員の紹介

令和2年度の後援会役員を紹介します。

新役員

【会長】 菊池まなみ 【副会長】 岩崎美由紀、鶴田雄一 【顧問】 宗和太郎
 【理事】 宮崎由佳、安藤美帆、首藤亜希子、落合美智子、野崎豊子、原田真理、泰田久史、矢田憲太郎
 【会計】 甲斐辰代、高橋明美 【監査】 岡園文恵、西脇祐子 【書記】 川越裕子、守山亜紀

~自宅で学ぶ~ 遠隔授業を実施

前期は対面授業が実施できない日々が続いておりましたが、学生たちはGmailの登録をはじめ、YouTubeやZoomといった配信ツールを活用したオンライン授業を行うためのレクチャーを数回に分けて受けてきました。学内には、授業を配信するための撮影機材を設置し、先生たちは学生に伝えるためにはどうすれば良いか日々工夫をしながら、急ピッチで作業を進め、4月から遠隔授業を開始することができました。自宅に十分なインターネット環境がない学生へは学内の自習室も開放しました。

今後も、どんな状況下においても学習できるような環境を整え、学生へ学びの場を提供し、学生の皆さんが明るい未来へのステップを踏み出せるようサポートします。



オンラインオープンキャンパスを開催

8月2日(日)にオンラインオープンキャンパスを開催しました。当初は第2回夏のオープンキャンパスの実施日でしたが、来場型からオンラインへ変更し、公式YouTubeを通して選抜試験をお届けしました。初の試みでしたが、MCの保育科2年竹原さんと現代ビジネス科2年高平さんの明るく元気なプレゼンで大変多くの視聴回数と高評価をいただきました。

今後も選抜試験の情報やキャンパスライフを時代に合わせて届けてまいりたいと思っております。



JR清武駅 ↔ 短大 通学シャトルバス運行!



夏のオープンキャンパスの様子

激動期を生きる

入学式の式辞に、これからの時代は過去の延長上にはない、予測のつかない正解の見えない状況で生きる覚悟が求められると述べた。毎年同じような趣旨を述べるが、今年はそれからの数ヶ月がまさにその事態であった。例年通りのことが許されず、新たな事態への対処が組織においても個人においても求められ、激動期とはまさにこういうことだと体感され、第2次大戦末期のことが思われた。

閉塞感、落ち着くことのない新たな事態への対処、誰しもストレスを抱えながら遠隔授業へ挑み、対面授業を再開させてからは感染不安と隣り合わせの毎日だった。宮崎県内の感染状況をにらみながら遠隔授業と対面授業とを入れ替えている。様々な環境条件、技術の習熟等不備がある中で対処に保護者諸兄、学生諸君のご理解を頂戴できれば有り難い。



学長 宗和 太郎

この数ヶ月で明らかになったこともある。遠隔の授業はやむを得ず行う「次善の策」であったが、情報技術・機器が進歩・普及し、案外使えることである。ビジネスの世界においてもテレワークが世界的に一気に加速した。会社に集まり朝礼から始まる仕事の常識が覆されつつある。

しかし教育面で言えば、遠隔教育は知識の獲得には有効でも、学生に帰属感、安心感、心理的開放感を得させることは難しい。一方、コロナが人々に与える閉塞感や不安感は攻撃衝動を誘発し、「自粛警察」なる正義感を振りかざした攻撃行動が出てきたりした。かつてのファシズムにもそうした側面があった。そこで大切になるのが、他者との対話的学びである。

それぞれが「正しい」という考えをぶつけ合い、受け止めあえたとき、自分も他人も「正しい」と思っていることが分かる。そうすると更に、それぞれの不十分さを包み込むような深い理解を求めていくことになる。それが対話的な深い学びである。人間を深く複合的に理解し、自分の狭さを開いていく学びである。安定した正解が見つけられない激動期には、対話的で深い学びを学生たちに経験させたい。

人の表に出る言動とその裏にある心はよくズレていること、物事には善悪両面あること。単純明快な分かりやすさには、影に切り捨てられたものがあること。だから世の中甘くない、だから人間は面白い。社会は面白い、人生は面白い。

学生の努力と輝き

保育科 教育実習基本実習に臨むにあたって 保育科1年 門田 琴音

私は、教育実習基本実習へは、子どもたちとの接し方や保育をする上で気をつけることなど、授業で習ったことをしっかりと復習して参加したいと思います。まずは、子ども1人ひとりのことをよく見て声かけを行い、子どもたちの反応や発言を取り入れた保育ができるようにしたいです。そのために、子どもたちの名前と顔を早く覚えることが大切だと思います。また、季節の歌や生活の歌などをピアノで弾けるように、練習も毎日欠かさずしています。

私は分からないことがあると、安易に他人に頼ろうとしてしまう弱さがあります。そこで基本実習では、保育者として色々な問題に取り組んでいけるよう、強い自立心を養いたいです。

初めての基本実習で、子どもたちと上手くコミュニケーションが取れるか、日誌が書けるかなど不安もたくさんあり、とても緊張しています。しかし、明るい挨拶や報告・連絡・相談の徹底、身だしなみに気をつけて笑顔を忘れずに実習に取り組んでいきたいです。限られた時間の中で多くの学びができるように、事前にしっかりと準備をして基本実習に臨みたいと思います。



現代ビジネス科 医療機関実習Ⅱに向けて

現代ビジネス科 医療事務・医療秘書コース2年 別府 海斗

1年次の2月に参加した医療機関実習Ⅰでは、簡単な事務作業や初歩的な点数計算などを行いました。しかし、何をどのようにしたらよいか分からず、職員の方の仕事を見ているだけに終わり、結果的に実習に対する取り組みが不十分との指摘を受け、大変ショックでした。

実習後指導で他の学生の取り組みを聴いたり、担任の先生に面談をお願いしたりして、何が問題だったのかを考えました。そのような中で、実習では任された仕事を一生懸命しましたが、その業務から得られる情報には関心を持っていなかったことに気付きました。また、職員の方に声をかける勇気が持てず、コミュニケーション不足だったことも自覚できました。

9月から参加する医療機関実習Ⅱでは、これらの反省点を活かすとともに、請求事務業務や患者対応など現場でしか体験できないことを将来の進路に役立てられるよう、取り組みたいと思います。病院の実習指導の方や患者様から私の成長を認めていただけるよう臨みます。



保育科 施設学内実習を終えて 保育科2年 那須 萌加

保育科2年生は新型コロナウイルスの影響で、施設実習を2週間の学内実習という形で終了しました。1週目は、外部講師の方や学内の先生方の講話、DVD視聴を通して施設の機能や職員の役割、使命感を学びました。2週目は、1週目の学びをもとにグループごとにKJ法を用いて意見交換やまとめを行い、その成果を発表しました。他のグループの発表を聞くことで学びを深めることもできました。

この実習を通して感じたことは、利用者の背景は様々であり、一人ひとりの性格や適した支援について全て把握した上で関わる必要があるということです。そうすることで、利用者が心を開き、信頼関係を築くことができると思いました。

学内実習という初めての形で不安もありましたが、学内でしか学べないことや経験できないことも多くありました。学内実習を実施してくださった先生方、外部講師の先生方に感謝し、今回の学内実習で得たことをこれからの生活や実習に活かしていきたいです。



現代ビジネス科 企業実習を終えて

現代ビジネス科 ビジネスコース1年 工藤 咲耶

私は、今回、将来就きたい職業とは分野の異なる仕事も体験したくて、宮崎県男女共同参画センターで実習をさせていただきました。私がこの実習で学んだことは、人の役に立つ仕事ができることへの充実感です。実習をさせていただいたセンターでは、相談や、講座等の企画を行っています。相談することで、気持ちが楽になったり、講座を企画・運営することで、講座を受けた人の勉強になったり、人に喜んでもらえる仕事ができると感じました。そのため、このような仕事も視野に入れて、将来のことを今後より深く考えていきたいと思いました。また、これからは、女性の積極的な社会参加がさらに求められていくと思います。そのことについて学ぶことができ、少しではありますが、自分の知識として、蓄えることができたので、これからの学校生活や、就職活動で、活かしていきたいです。



専攻科 (福祉専攻) 介護実習を体験して 専攻科 (福祉専攻) 渡邊 百香

専攻科入学直後、新型コロナウイルス感染症対策として不慣れな遠隔授業となりました。そして、延期されていた介護実習はやむなく中止となり、再開された学内での代替実習となりました。

不安定な状況が続く中、次の実習は何とか可能となりましたが、感染防止対策の徹底と大幅な期間短縮に、かなりの緊張と不安を感じました。しかし、この厳しい状況で受け入れてくださった施設の方々感謝するとともに、積極的に学ぼうという思いが強くなり、見学の依頼や質問など、これまで以上に自分で考え行動した実習だったと思います。

この実習での体験はととても新鮮で、初めて目にすることや知らない言葉など、濃厚な時間となりました。また、難しく感じた高齢者とのコミュニケーションも、日毎に手応えを感じられるようになり、自分の成長を実感出来ました。

実習を終えた今、国家試験に対する意識も高まり勉強に励む日々です。専攻科生全員で力を合わせ、臨みたいと思っています。



現代ビジネス科 みやざきCOC+を受講して

現代ビジネス科 ビジネスコース2年 島地 果歩

私のみやざきCOC+を受講した理由は、就職活動時に一次試験免除などの優遇を受けることができることと、短大の授業では扱っていない分野から地元宮崎について学べるという点に魅力を感じたからです。

授業では、食品・ICT・医療・福祉・エネルギー・ものづくり、国際・観光・公務員・教員、起業の7つの分野から宮崎について学ぶことができます。基本的にインターネットでの動画配信により授業を受講するのですが、実際に宮崎大学に行き、授業を受ける対面授業もありました。対面授業は宮崎県内の大学生と交流ができるため、ほかの学生の意見や考えを知ることができ、短大の授業とは違った刺激を受けることができました。また、地域産業入門の科目では、企業の方の講演もあり、就職活動をしていた私にとって企業選択の1つとなりました。自分の成長に大きく繋がりととても有意義な授業でした。

このみやざきCOC+で学んだ、現状から課題を見つけ解決策を考えるというスキルを地元宮崎で活かしていきたいです。

